

三重縣公報

第二千八百四十五號

昭和十二年四月十五日

木曜日

條例

●三重縣條例第四號

四日市港營造物使用條例左ノ通定ム

昭和十二年四月十五日

三重縣知事 安藤 狂四郎

四日市港營造物使用條例

第一章 總則

第一條 本條例ニ於テ營造物ト稱スルハ四日市港ノ縣營繫船岸壁、棧橋、繫船浮標、上屋、野積場、物揚場及起重機ヲ謂フ

第二條 營造物ノ使用及使用料ニ關シテハ本條例ノ定ムル所ニ依ル

第三條 營造物ヲ使用セムトスル者ハ別紙第一號書式ノ願書ヲ提出シ知事ノ許可ヲ受クベシ許可ノ事項ヲ變更シ又ハ繼續使用セムトスルトキ亦同ジ

第四條 營造物ノ使用料及其ノ算定方法ハ左表ニ依ル

一 總噸數一千噸未滿ノ船舶	繫留時間二十四時間迄毎ニ	金二圓
總噸數三千噸未滿ノ船舶	同	金五圓

上屋

荷揚場上屋	一	輸出貨物	其ノ他ノ貨物
一般使用	十日以内ノ期間 十日ヲ超ユル期間 二十日ヲ超ユル期間	金一錢 金二錢 金五錢	金二錢 金四錢 金六錢
專用使用	一坪 同 同	一坪 同 同	金七十五錢
二 棧橋上屋		輸出貨物	其ノ他ノ貨物

111

二 當初使用時間五時間ニ滿タザル端數ハ五時間トシテ計算ス

第五條 營造物ノ使用料ハ使用ノ許可ヲ爲シタルトキ即時之ヲ徵收ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 使用期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタルトキハ其ノ時ヨリ日、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ其ノ初日ヨリ之ヲ起算ス

第七條 營造物ノ使用ニ關シテハ總テ當該係員ノ指揮ニ從フベシ

第八條 營造物ノ使用始終時ノ決定ハ當該係員ノ認定ニ依ル

第九條 使用許可期間中ト雖營造物ノ使用ガ終リタルトキハ其ノ時ヲ以テ使用期間滿了シタルモノト看做ス
第十條 既納ノ使用料ハ之ヲ還付セズ但シ左ニ掲グル場合ハ知事ニ於テ其ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトアルベシ

一 天災其ノ他不可抗力ニ依リ使用ヲ爲スコト能ハザルトキ

二 使用ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ停止ヲ命ジタルトキ

第十一條 使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ權利ヲ讓渡シ又ハ他人ヲシテ其ノ營造物ヲ使用セシムルコトヲ得ズ

第十二條 知事必要アリト認ムルトキハ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消シ又ハ其ノ效力ヲ停止シ若ハ許可ノ條件ヲ變更スルコトアルベシ

第十三條 使用期間滿了シタルトキハ直ニ使用セル營造物ヲ清掃ノ上當該係員ノ検査ヲ受クベシ知事ニ於テ使用ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ效力ヲ停止シ若ハ使用場所ノ變更ヲ命ジタルトキ亦同ジ

第十四條 使用ノ許可ヲ受ケタル者營造物又ハ其ノ附屬設備ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ知事ノ命ズル所ニ

從ヒ之ヲ原形ニ回復シ又ハ其ノ損害ヲ賠償スベシ

前項ノ場合ニ於テ遲滯ナク之ヲ原形ニ回復セザルトキハ縣ニ於テ施行シ其ノ費用ヲ此ノ者ヨリ徵收スルコトアルベシ

第十五條 知事必要アリト認ムルトキハ營造物ニ立入ルコトヲ禁止シ又ハ之ヲ制限スルコトアルベシ

第十六條 營造物ノ使用ニ因リ又ハ本條例ニ基ク處分ニ因リ生ジタル損害ニ付テハ縣ハ其ノ責ニ任ゼズ

第十七條 本條例ニ違反シ又ハ本條例ニ基ク指示ニ從ハザル者ニ對シテハ爾後使用ノ許可ヲ爲サザルコトアルベシ

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ五圓以下ノ過料ヲ科ス

一 許可ヲ受ケズシテ使用シタル者

二 不正ノ手段ヲ以テ使用ノ許可ヲ受ケタル者

三 本條例又ハ之ニ基ク命令若ハ許可ノ條件ニ違反シタル者

第十九條 詐僞其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レタル者ニ付テハ其ノ徵收ヲ免レタル金額ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科ス

第二章 繫船岸壁、棧橋及繫船浮標

第二十條 繫船岸壁、棧橋ニハ「アルファベット」ヲ繫船浮標ニハ數字番號ヲ附ス

第二十一條 左ニ掲グル船舶ニ對シテハ使用料ヲ徵收セズ

一 軍用ノ艦船又ハ官公署用ノ船舶

二 總噸數五噸未滿ノ船舶

三 其ノ他知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムル船舶

第二十二條 繫留中ノ船舶ハ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 繫船岸壁、棧橋又ハ其ノ附近ニ於テ火氣ヲ使用シ又ハ「ビッチ」「タール」其ノ他燃燒質ノ物品ヲ爰ムルコト

二 塵芥、灰塵、荷足等ヲ投棄スルコト

三 其ノ他當該係員ニ於テ不適當ト認ムル行為ヲ爲スコト

第二十三條 左ニ掲グル物件ハ繫船岸壁又ハ棧橋ニ於テ陸揚又ハ船積スルコトヲ得ズ

一 爆發質又ハ燃燒質ノ物品、石炭、荷足又ハ他物ヲ毀損シ若ハ汚損スル虞アル物件

二 一平方米ニ付負荷重量三噸以上ノ物件

三 其ノ他當該係員ニ於テ不適當ト認ムル物件

第二十四條 船舶ノ繫離作業ハ當該係員ノ立會ヲ得テ之ヲ爲スベシ但シ繫船浮標ニ發着スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條 繫船岸壁、棧橋又ハ繫船浮標ニ發着スル爲曳船又ハ網取ヲ使用セムトスル者ハ豫メ曳船又ハ網取ヲ定メ知事ノ許可ヲ受クベシ

船舶ハ曳船ヲ使用セズシテ繫船岸壁又ハ棧橋ニ發着スルコトヲ得ズ但シ特ニ知事ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三章 上屋、野積場及物揚場

第二十六條 上屋ニハ「アルファベット」ヲ野積場及物揚場ニハ夫々數字番號ヲ附ス

第二十七條 上屋、野積場ニ付テハ三十日物揚場ニ付テハ七日以上使用スルコトヲ得ズ但シ專用使用ノ場合又ハ特ニ知事ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條 貨物ノ陸揚又ハ船積ノ爲單ニ物揚場ヲ通過スル場合ニハ使用ノ手續ヲ爲スコトヲ要セズ

第二十九條 左ニ掲グル物件ハ上屋ニ藏置スルコトヲ得ズ

一 爆發質、燃燒質ノ物品及劇藥、毒藥又ハ衛生上有害ナル物件

二 上屋又ハ他ノ貨物ヲ毀損シ若ハ汚損スル虞アル物件

三 荷揚場上屋ニ付テハ一平方米ニ付負荷重量三、六噸棧橋上屋ニ付テハ一平方米ニ付負荷重量二、五噸以上ノ物件

四 荷揚場上屋ニ付テハ高サ五、四五米棧橋上屋ニ付テハ高サ四米以上ノ物件

五 其ノ他當該係員ニ於テ不適當ト認ムル物件

第三十條 物揚場ニ於テハ一平方米ニ付負荷重量一、五噸以上ノ物件ヲ陸揚又ハ船積スルコトヲ得ズ

第三十一條 貨物ヲ搬入シタルトキハ其ノ搬入月日、使用期間、使用面積及使用ノ許可ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ記載セル標札ヲ附スベシ

第三十二條 貨物ヲ搬出セムトスル者ハ別紙第二號書式ノ届書ヲ提出シ知事ノ承認ヲ受クベシ

第三十三條 上屋ニ藏置スル貨物ノ搬入、搬出ハ三重縣四日市港務所ノ執務時間内トス但シ時宜ニ依リ時間ヲ伸縮スルコトアルベシ

第三十四條 使用許可ノ效力消滅シタル後正當ノ理由ナクシテ貨物ノ搬出ヲ爲サザルトキハ知事ニ於テ其ノ貨物ヲ處分シ其ノ費用ヲ負擔セシムルコトアルベシ

第四章 起重機

第三十五條 起重機ハ其ノ揚力以上ノモノニ對シ使用スルコトヲ得ズ

附 則

本條例ハ昭和十二年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

本條例施行ノ際現ニ營造物ヲ使用スル者ノ使用料ニ付テハ其ノ許可期間内ニ限り仍從前ノ例ニ依ル

大正十一年三重縣令第三十八號四日市港上屋使用料徵收規則、大正十一年三重縣告示第百六十號四日市港縣營上屋使用規程、大正十五年三重縣令第三十八號四日市港繫船浮標使用料徵收規則、大正十五年三重縣告示

第百六十號四日市港繫船浮標使用規程ハ之ヲ廢止ス

別紙第一號書式

一 繫船岸壁、棧橋及繫船浮標

繫船岸壁、棧橋、浮標使用願

繫船 岸壁 浮標	使用期間 自 月 日 午 時 分 至 月 日 午 時 分 計 時間 分	使用料 金 圓
----------------	--	------------

右使用御許可相成度候也

昭和 年 月 日

三重縣知事

殿

九船長

船種	船名	總噸數	原發航年月日時	年月日時
純噸數	噸	噸	噸	噸

國籍	船主		船籍港	乘組船員數	折目	陸揚貨物		積込貨物	
	住所	氏名				仕出港	品名	個數量目	仕向港
	尺度		吃水 (船尾)	滿船吃水	入港當時吃水			着港前寄港地	出港後寄港地
	長	幅	深	噸	噸	噸	噸	噸	噸
				船客上陸數	畜類上陸數				

船

取

考

二 上屋、野積場及物揚場

上野野物
積揚場
屋場場
使用願

場場屋

積

問

自昭和
昭和
年
年
月
月
日
日
間

料

金圓錢

右使用御許可相成度候也

昭和 年 月 日

三重縣知事 殿

住所

氏

名

折
目
……

保管貨物

名

個數

噸

數

輸移出別

住 出 地 及 住 向 地

備考

三 起 重 機		起重機使用願	
起 重 機			
使用期間	自 月 日 午 時 分 至 月 日 午 時 分		
使用料	金 圓		
右使用御許可相成度候也			
昭和 年 月 日			
三重縣知事 殿			
住 所 氏 名			
折 目			
使用說明書			
一 使用場所			
二 使用目的			
三 使用方法			
四 備考			

別紙第二號書式

上野屋	上野屋	貨物搬出届	品 名	搬 出	個 數	噸 數
野積場	野積場					
物揚場	物揚場					
使用許可年月日	昭和 年 月 日					
使用面積						
搬出面積						
搬出年月日	昭和 年 月 日					
搬出終了年月日	昭和 年 月 日					
右搬出致度候ニ付御承認相成度候也						
昭和 年 月 日						
三重縣知事 殿						
住 所 氏 名						
折 目						

[illegible]

告
示

●三重縣告示第四百四十五號

昭和十二年四月十二日名賀郡依那古尋常高等小學校校地左ノ通擴張指定セリ

昭和十二年四月十五日

三重縣知事 安藤 狂四郎

名賀郡依那古村大字沖字下川原二六五番ノ二

一、田
二畝四步

同上
上
二六六番ノ一

一、田一反一畝十一步

同上
二六七番ノ四

一、田 二畝二十七步

同上
二六八番ノ四

一、田 二畝十步

同上 二七〇番ノ二

一、田 二畝二十九步

同上
二七番

一、田 六畝二十一步

同上 二七三番

一、田一反十二步

同上 二七三番

一、田 一反六步
名賀郡依那古村大字市部字川原田八番ノ二

一、田 二十三歩

同 上 九番ノ二

一、田 九畝十二歩

同 上 一〇番ノ二

一、田 五畝二十八歩

同 上 二六番ノ二

一、田 三歩

●三重縣告示第四百四十六號

昭和十二年四月十二日松阪市第四尋常高等小學校校地左ノ通擴張指定セリ

昭和十二年四月十五日

三重縣知事 安藤 狂四郎

松阪市大字鎌田字中保六五七番地ノ二

一、田 一畝二十五歩

同 上 六五八番地ノ二

一、田 一畝七歩

同 上 六五九番地ノ二

一、田 二畝二十九歩

同 上 六六〇番地ノ二

一、田 二十四歩

同 上 六六一番地ノ一〇

一、田 四畝十二歩

同 上 字善徳四二六番地ノ五

一、井溝 九歩

同 上 四二六番地ノ七

一、荒蕪地 十歩

同 上 字中保六六一番地ノ一三

一、廢道敷 一畝十五歩

同 上 六六一番地ノ一四

一、廢道敷 十六歩

同 上 六六一番地ノ三

一、井溝 七歩

同 上 六六一番地ノ五

一、井溝 二十九歩

同 上 六六一番地ノ六

一、井溝 二歩

同 上 六六一番地ノ七

一、荒蕪地 九歩

同 上 六六一番地ノ八

- 一、井溝 二步 六六一番地ノ九
- 一、井溝 九步

●三重縣告示第四百四十七號
四日市高等女學校授業料額文部大臣ノ認可ヲ經昭和十二年四月一日ヨリ左ノ通定メタリ

昭和十二年四月十五日

三重縣知事 安藤 狂 四 郎

- 一、市内ニ在住スル者 一人 一箇月金參圓五拾錢
- 一、市外ヨリ通學スル者若ハ入學一ノ爲市内ニ單身寄留スル者 一人 一箇月金五圓

●三重縣告示第四百四十八號
上野町立實科高等女學校授業料額文部大臣ノ認可ヲ經昭和十二年四月一日ヨリ左ノ通定メタリ

昭和十二年四月十五日

三重縣知事 安藤 狂 四 郎

本 科

- 上野町内居住者ニシテ其ノ負擔ヲ分任スル者ノ家族 一人一箇月金貳圓
- 上野町外ヨリ通學スル者若ハ入學ノ爲町内ニ單身寄留スル者 一人一箇月金參圓

補 習 科

- 上野町内居住者ニシテ其ノ負擔ヲ分任スル者ノ家族 一人一箇月金貳圓
- 上野町外ヨリ通學スル者若ハ入學ノ爲町内ニ單身寄留スル者 一人一箇月金參圓

●三重縣告示第四百四十九號
漁業權拋棄ニ因リ左記權利消滅セリ

昭和十二年四月十五日

三重縣知事 安藤 狂 四 郎

- 拋棄年月日 免許番號 漁場ノ位置 漁業ノ種類及名稱 權利者
- 昭和十一年十月十五日 免許第六〇四號 志摩郡立神村地先 特別漁業第三種 立神漁業組合

訓 令

●三重縣訓令甲第二十號

三重縣四日市港務所

四日市港營造物使用條例取扱手續左ノ通定ム

昭和十二年四月十五日

三重縣知事 安 藤 狂 四 郎

四日市港營造物使用條例取扱手續

第一條 四日市港營造物使用條例(以下條例ト謂フ)第三條、第十二條、第十四條、第十五條、第二十五條、第二十七條及第三十二條ニ規定スル事項ハ三重縣四日市港務所長ニ於テ之ヲ處理スベシ

第二條 條例第三條ノ出願ニシテ競願トナリタル場合ハ船舶ノ荷役ノ都合、貨物ノ狀況其ノ他使用期間ノ長短等ヲ考慮シ其ノ價值最モ大ナルモノニ對シ使用セシムベシ

第三條 條例第十二條ニ依ル處分ヲ爲サムトスルトキハ豫メ使用ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ通知スベシ但シ急施ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 左ニ掲グル事項ニ付テハ處理ノ範圍外トス

- 一 専用使用期間一箇年ヲ超ユルモノ
- 二 敷地ニ固着スル工作物ヲ施設スルモノ

附 則

本令ハ昭和十二年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

彙報

●町村長異動

昭和十二年四月一日就職

員辨郡治田村長 田 中 清十郎

●小學校教員講習會

主 催

三重縣女子師範學校附屬小學校

一、期 日

昭和十二年四月二十四日(土)二十五日(日)兩日午前九時ヨリ午後三時三十分マデ

一、會 場

三重縣女子師範學校附屬小學校講堂

一、科 目

(一)修身新尋四修身書ノ編纂精神ト活用 (二時間半)

訓 導 稻 本 悦 三

(二)讀方新讀本卷九ノ機構ト其ノ實踐開拓 (二時間)

訓 導 林 義 男

(三)書方甲種新手本行書指導ノ歩ミ (二時間)

訓 導 川 北 博 也

(四)算術新算術尋三上卷ノ新相トソノ實踐(二時間半)

訓 導 吉 川 宇 市

(五)國史現代史教育ノ重視ト新高等小學 (二時間半)
國史下卷ノ眞使命

訓 導 高 橋 茂 樹

(六)圖畫新尋一圖畫ノ改訂トソノ檢討 (二時間半)

訓 導 杉 森 武 夫

(七)新教科書ト教育實踐

主 事 桑 原 清 平

一、會員資格 本縣下小學校教員

一、會 費 無料

一、申 込 當日當校ニテ受付ク

備考 會員ハ新教科書御持參ノコト

●號外發行

本月五日二回、六日、八日、九日、十日二回、十二日、十三日縣公報號外發行セリ

廣 告

●工事入札公告

師範學校附屬小學校災害復舊建築工事

一身田警察署災害復舊建築工事

右諸負望ノ者ハ當廳土木課若ハ當該警察署ニ付規程設計仕様書竝圖面實地點覽ノ上來ル四月二十日午後十時迄ニ當廳ニ到着スル様人札書郵送スヘシ翌日午前十時開札ス

昭和十二年四月

三

重

縣

通牒照會

●教第二四四號

昭和十二年四月十五日

學 務 部 長

各市町村長殿

各市町村男女青少年團長殿

各市町村婦人會長殿

(例規)

男女青少年團婦人會一覽表提出ニ關スル件

昭和四年四月三十日三重縣訓令甲第二十二號ニ依リ毎年四月三十日現在ニ依リ五月十日迄ニ御提出可相成標記一覽表ニ關シテハ期限迄ニ御回報相成様特ニ御配意相煩度此段爲念及通牒候

追テ男女青年團一覽表ニアリテハ爾今左記事項ヲ加ヘラレ度尙用紙ハ送付致サザルニ付御了知相成度候

記

- 一、團員內譯欄ヲ二十歳未満、二十五歳迄、二十五歳ヲ超ユルモノトノ三ニ區分シテ記載ノコト
- 二、團員中ノ青年學校在學者、中等學校在學者及産業組合青年聯盟加盟者數ヲ記載スルコト(便宜上表中上欄餘白ヘ記載スルモ妨ナシ)
- 三、經費收入內譯中其ノ他ノ收入欄ヲ作業收入ト其ノ他ノ二ツニ區分シテ記載スルコト

●教第一、二四九號

昭和十二年四月十五日

總務部 學務部長

支廳長殿

各市町村長殿

各小學校長殿

全國一齊選舉肅正強調日ニ關スル件

四月三十日執行ノ衆議院議員總選舉ニ對スル肅正運動ニ就テハ本月九日付教第一、二四九號通牒ノ次第ニ依
リ既ニ御配意中ノコトト存候處右通牒事項中「選舉肅正強調期間」ノ最終日タル四月二十三日ハ全國一齊ノ選
舉肅正強調日ト定メラレ候ニ就テハ同日ノ施設事項ニ關シテハ特ニ御配慮ノ上適當ナル御計劃相成度此段及
通知候也

●社兵第一、二四三號

昭和十二年四月十五日

各小學校長殿

學 務 部 長

海軍記念日ニ軍艦旗掲揚ノ件

客年四月三十日社兵第一、二九六號通牒ノ通り海軍記念日ニ軍艦旗掲揚ハ意義アル行事ノ一ト被存候御承知ノ通り本年ハ海軍無條約第一年ヲ迎ヘ各國競ツテ軍備ノ擴大強化ヲ期シツアル現狀ニ鑑ミ此際國民一般ニ我國防ノ本義ト海國日本ノ意義海軍ノ使命ト現狀等ニ關シ一般ノ認識ヲ與ヘ併セテ之ガ徹底ヲ期スル意味ニ於テ來ルベキ海軍記念日ニ於テ軍艦旗掲揚ノ上例年通り記念事業ヲ施行シ當日ヲ一層意義アラシメラレ度此段及通牒候也

追テ軍艦旗購入希望ノ向ハ社寺兵事課海軍協會三重支部ニ於テ左記價格ヲ以テ調製委託ニ可應ニ付申添候

記

巾	價格	材 料	巾	價格	材 料
一尺八寸	四〇	天竺木綿	三尺六寸	四、三五	天竺木綿
二尺四寸	一、三八	同	四尺五寸	六、三〇	同
二尺七寸	一、七五	同	五尺四寸	八、〇五	同
備考	長サハ巾ノ約一倍半	軍艦旗ノ規劃ニ準ズ			
註文日限ハ五月十日限トス					
ゼット旗ノ希望ニ應ズ(最低六十五錢ヨリ五圓八十錢マデ)					

電話番號

[illegible]

注意 擔當區域ハ大字名、町名等ヲ記入シ第一擔當區、第二擔當區等ト記入セザルコト

昭和十二年四月十五日印刷發行

三重縣公報(第三種郵便物認可)

三重縣廳

三重縣津市下部田千六百十九番ノ二
印刷所 振替口座番號 名古屋一四五〇六番